

## 第4保育所\_公私連携保育所移行に伴う三者協議会

### 【協議録・要旨】

日時：令和6年12月5日（木）

午後7時から午後7時50分まで

場所：益城町役場 2階 第2、3会議室

参加者

○：第4保育所 在園児保護者6名

●：社会福祉法人 将友会 前田徹一理事長  
尾辻保育士

□：第4保育所 宮尾所長、佐藤主任保育士

■：こども未来課 吉住こども未来課長  
村上係長、松本主査（記）

### 【決定事項】

・園名は、次の2案を基に社会福祉法人将友会が最終決定し、令和6年12月中に別途お知らせする。

案1) あゆみのもり保育園

案2) ひびきのそら保育園

・延長保育の発生時間は、次回の協議会で具体的な対応方法を提示する。

・完全給食移行に伴う主食費の導入（月額 1,200 円）に関しては、協議の結果、令和7年4月から実施する。

・令和7年4月からの職員増加に伴う、駐車場の確保問題を今後検討していく。

## 【協議要旨】

### 1. 開会

### 2. 自己紹介

- ：第1回協議会の際に、要望があった会計年度任用職員で、令和7年4月から第4保育所に残る保育士に参加してもらっている。
- ：現在、3歳児クラスの副担任をしている尾辻保育士です。よろしくお願いします。
- ：尾辻保育士には、今後も協議会に参加してもらう予定。

### 3. 協議会

#### 1. お昼寝コットの対応について

- ：第1回協議会の際に説明したお昼寝コットに関し、現物を持参した。併せて、実際に、芦北のこども園で利用している状況を写真により説明。令和7年4月から導入したい旨、説明していたが、問題が生じたので、前田理事長から説明をお願いしたい。
- ：お昼寝コットに関し、写真のように教室に並べるが、保育士が歩く通路を確保する必要がある。再度、第4保育所の各教室で敷設できるか、検証したところ、現園舎では、敷設することが難しいことが判明した。混乱をきたし、申し訳ないが、令和7年4月からの導入は見送らせていただく。新園舎建設時の協議事項とさせていただきたい。
- ：本来であれば第1回協議会前に検証するべき案件だった。申し訳ない。

【質疑・要望事項】 なし

#### 2. 必要な用品について

- ：資料1と資料1の別紙1を基に説明。第1回協議会の際に要望があった「進級式」と「幼年消防クラブ結団式」に関して、これまで通り実施する。コドモンの登降園利用の際に、コドモン専用カードの購入をお願いするかもしれないと伝えていたが、現在のQRコードでの対応が可能であったため、コドモン専用カードの購入は不要。ただし、コドモンに関し、再インストールの可能性がある。こちらに関しては、コドモンの販売元と協議をしているので、詳細が分かり次第、報告させていただきたい。用品に関して、基本的には現在所有する用品で代用できるものは代用してもらって問題ないので、新たな購入は望まない。今回、全員購入をお願いする物品としている「成長記録フォルダ」に関し、説明。子どもたちが作成する作品を格納するフォルダで、卒園児に渡すような運営を芦北のこども園では行っている。令和7年度の年長児は残り1年なので、実際の運営開始

後に購入の可否を判断させていただきたい。年中児以下は購入をお願いしたい。

【質疑・要望事項】 なし

### 3. アンケート調査結果について

■：資料2の1ページを基に、アンケート調査結果を報告。「木山」という地名を入れるかどうかに関しては、入れるべきが「3件」、入れなくても構わないが「17件」、どちらでも構わないが「19件」だった。併せて3案で園名を選択する形をとったが、案1「あゆみのもり保育園」と案2「ひびきのそら保育園」がほぼ半数という結果だった。このアンケート調査結果を基に社会福祉法人将友会で最終的な園名を決定したいと考えている。審議をお願いしたい。

【意見・要望事項】 なし

■：園名に関しては、社会福祉法人将友会に委ねるという形をとりたい。年内には、園名を決める必要があるので、正式に決定後は、改めてお知らせをさせていただく。

■：資料2の2ページを基に公私連携保育所移行後の開園時間として希望する運営方法に関するアンケート結果を報告。従来通りの18時30分からの延長保育発生を希望する方が2/3という結果だった。このアンケート調査の目的は、9月に開催した説明会の際に半年という期間で急な仕事の調整が必要になり、対応が難しい旨のご意見をいただき、アンケートを実施した。柔軟な移行に向けた対応方法を事務局にて検討し、具体的な対応方法を次回の協議会でお示ししたい。

■：資料2の3ページを基に、自由意見を説明。お昼寝コットの対応については、協議1の事項の通り、令和7年4月からの導入は行わない。新園舎建設時の協議事項とさせていただく。用品に関し、新たに購入しないといけないのかという意見と主食代1か月1,200円は高いと思うので、持参の継続はできないのかという意見をいただいた。こちらに関しては、将友会の前田理事長から説明をさせていただく。

●：用品に関しては、協議2で説明した通り、代用できるものは、代用品にて運営をし、新たな購入ができる限り少なくなるよう対応をさせていただきたい。主食費については国の設定金額は1人3,000円/月。この金額を国が定めているが、地域の実情を踏まえ今回1,200円/月を提示してい

る。完全給食については、給食の提供メニューの拡大や食育の推進として大いに期待されるもの。精米の確保を考えると本日の協議会で、実施の可否を判断していただきたい。

■：最後、事前に質疑をいただいた内容に関しては、配布資料のとおり。

#### 4. 質疑応答

(延長保育について)

○：現在、延長保育の開始時間で検討している18時以降に残る児童は何人くらいいるのか？

■：令和6年10月の状況で、月あたり約100人(延べ)の児童が利用している

る。保育施設の1月当たりの開所日数は25日なので、平均すると1日あたり、4人。この25日には、土曜日も含むので、土曜日を除く20日で割ると平均5人程度。

□：18時30分までに5～8名、18時30分以降に1～2名という状況。顔ぶれは、ほぼ一緒。

(完全給食について)

■：社会福祉法人将友会のホームページに給食の写真が多く上がっているが、完全給食になるとこのような形で配膳される。

□：ご飯の持参に関しては、夏場は特に注意している。持参してもらった弁当箱を集めて、涼しい部屋で保管している。中には変色しているご飯を持参される時もある。また、冬場は、冷たいご飯になっているので、完全給食になると子どもたちにはメリットが大きいと思う。精米の価格が上がっている中で、月1,200円は妥当ではないかと思う。実施に向けた検討を行ってほしい。

○：温かいご飯の提供はいいが、子どもによって食べる量が違うと思う。量は、どのように配膳するのか？

●：芦北のこども園では、以上児の子が自分自身でついでもらっている。食べられる分量を自分たちで考えながら配膳している。

○：完全給食に移行後、食育に取り組んでいくという説明だが、具体的にどのような取り組みをなされるのか？

●：0歳児は1人1人抱っこでご飯を食べさせている。

■：将友会が運営する大野保育園の記事がホームページ上に掲載されている。米を研いで、鍋でご飯を炊き、最後おにぎりをみんなで握っている。このようなことも完全給食に移行すると対応可能になる。

■：精米の購入の観点から、本日の協議会で実施の可否に関し、判断を仰ぎたい。令和7年4月からの完全給食移行に関し、実施してよろしいか？

○：異議なし。

●：審議いただき、感謝したい。令和7年4月からの完全給食移行に向け、取り組んでいきたい。

(将友会のホームページについて)

○：社会福祉法人将友会のホームページに献立が写真付きで掲載されているが、第4保育所分も令和7年4月から掲載する予定か？

●：準備が整い次第、掲載していきたい。

(会計年度任用職員の採用と駐車場の問題について)

●：他の町立保育所で勤務し、令和7年4月から将友会で雇用する会計年度任用職員4名を、令和7年1月から第4保育所に異動する段取りを進めている。15名の残留する会計年度任用職員の方を含めると19名の方が公私合同保育を行うことになる。3月には、他の保育所から採用する保育士も従事してもらう予定。

○：今の先生の数に加え、最終的に何人くらいを採用予定なのか？

●：最終的に33名を採用予定としている。

■：今の職員数よりも、多く採用してもらう予定。

○：職員を今以上に確保することはいいが、駐車場が不足するのではないかと懸念している。

○：職員が増えるのであれば、預かり前の服や布団の整理等を保育士の方にしていただき、保護者の滞留時間を減らしてはどうか？

□：預かり前の服の整理やおむつの補充は、現在の状況を保護者の方と共有する目的がある。この共有時間を将友会がどのように考えるかだと思う。

■：駐車場に関し、問題提起していただき、感謝。対応を検討したい。

○：延長保育に入っている保育士の方も、将友会で採用されるのか？

●：採用し、残留する。

(その他)

■：多くの意見を賜り、感謝。円滑な移行が進められるよう、1月からは本格的に公私合同保育が開始される。何かあれば、保育所又は役場こども未来課保育係に伝えてほしい。次回は、令和7年2月中に協議会を開催したい。多様なところ、恐縮ですが、参加をお願いしたい。